



25 JILS 25th Anniversary
THINK TOGETHER

25

これからのロジスティクスのあるべき姿 ～第4次産業革命に備え、考えるべきこと～

10月 ロジスティクス強調月間 2017

ロジスティクス全国大会 2017

会期：10月26日(木)・27日(金)

会場：JPタワーホール&カンファレンス

主催：公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会



10月26日(木)

基調講演

物流業界を取り巻く環境と
その課題解決に向けて

ヤマト運輸株式会社 常務執行役員
小菅 泰治 氏

ロジスティクス全国大会 2017

開催にあたって

世界経済を取巻く状況は緩やかに景気が持ち直していますが世界的規模において収まる気配のない地政学的リスクを抱えるなど、依然として先行き不透明な状況にあり、注視していく必要があります。

一方、我が国の経済は、デフレ脱却に向けた各種政策や企業努力、またインバウンド需要の伸長もあり、景気回復基調が続くと公算があるものの、海外経済の下振れ懸念や、物価・賃金水準の伸び悩み等、依然予断を許さない状況に置かれております。企業の存続、競争優位の確保と持続的な発展のためにはさらなる経営の効率化を進める必要があります。

経営を効率化し、企業競争力を向上させるためには、意思決定のスピード化やテクノロジーの活用を通じた、サプライチェーンを全体最適の視点で捉えたマネジメントが必要不可欠であり、サプライチェーンの各プレイヤーを有機的に結び機能を担うロジスティクスが果たすべき役割はますます重要になっております。

このような状況の下、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、産業界をはじめ社会全体へのロジスティクスの普及促進を目的に、毎年10月を「ロジスティクス強調月間」と位置付け、産官学の協力を得て全国的な規模で普及活動を展開しております。その一環として、ロジスティクスの意義と重要性を産業界に提唱する場として「ロジスティクス全国大会2017」を、10月26日(木)、27日(金)の両日、東京・千代田区のJPタワー&カンファレンスにて開催いたします。

本年のプログラムでは、「これからのロジスティクスのあるべき姿 ～第4次産業革命に備え、考えるべきこと～」を統一テーマとして、IoT、BD、AI等の新技術の活用によるサプライチェーン全体の生産性向上のための企業戦略、また各プレイヤーの連携によってロジスティクスの高度化に取り組んでいる先進事例をご発表いただきます。会期初日の基調講演にはヤマト運輸株式会社 常務執行役員 小菅 泰治様をお迎えし、いまや社会インフラとなった宅急便事業において、大きな社会問題となりつつあるトラックドライバー不足を乗り越え、事業継続を図るための働き方改革や企業革新の取り組みについてご講演いただきます。

また、「ロジスティクス・物流の労働力不足を考える」をテーマとしたパネルディスカッションにおいては、各パネリストより課題解決と生産性向上に向けてどのような連携を図っていくべきか、そのための課題や方策についてご議論をいただき、今後の方向性を探っていきます。さらには「2017年度 ロジスティクス大賞」受賞企業による、ロジスティクス高度化への先進的な取組み事例が紹介されます。

全国のロジスティクス関係者の方々が一堂に会し、充実した発表と活発な交流を通じて、これからのロジスティクスのあり方を導き出す機会になることと確信いたしております。ロジスティクス全国大会2017への皆様の積極的なご参加を心からお待ち申しあげております。



ロジスティクス強調月間2017 推進委員会
ロジスティクス全国大会2017 実行委員会

委員長 **藤田 正美**

キュービー株式会社 執行役員
ロジスティクス本部長

会場案内

JPタワーホール&カンファレンス
〒100-7036 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号



交通のご案内
JR東京駅 徒歩約1分、千代田線二重橋前駅 徒歩約2分、
JR京葉線東京駅 徒歩約3分、JR有楽町線 徒歩約6分
三田線大手町駅 徒歩約4分、丸の内線東京駅 地下道より直結

ロジスティクス強調月間2017 推進委員会 ロジスティクス全国大会2017 実行委員会 委員名簿

(2017年8月1日現在・順不同・敬称略)

委員長

藤田 正美 キュービー(株) 執行役員 ロジスティクス本部長

副委員長

村瀬 毅 日本通運(株) 業務部長

委員

- | | |
|-----------------------|------------------------------------------|
| 鷹合 賢司 (株)IHI | 産業システム・汎用機械事業領域事業開発部 次長兼)事業戦略推進部 営業担当部長 |
| 寺田 猛史 鴻池運輸(株) | 経営改革本部 部長 |
| 櫻井 俊 東芝ロジスティクス(株) | 常務取締役 経営企画部長 |
| 広瀬 貴晴 東レ(株) | 物流部長 |
| 皆木 克史 日産自動車(株) | SCM本部 車両物流部 部長 |
| 渋谷 敦巳 日本生活協同組合連合会 | ロジスティクス本部 物流企画部 部長 |
| 石橋 守 日本郵便(株) | 郵便・物流営業部 部長 |
| 弓野 理恵 (株)バンダイロジパル | 取締役 |
| 富計かおり PwCコンサルティング(同) | Advisory Operations部門 Senior Associate |
| 近岡 由雪 富士通(株) | 産業・流通営業グループ産業・流通ビジネス推進統括部
ロジスティクス推進部長 |
| 田中 英介 三井倉庫(株) | 取締役 上級執行役員 倉庫営業部門長兼 倉庫営業担当 |
| 林 聡子 (株)三越伊勢丹ビジネスサポート | 事業本部 百貨店営業部長 |
| 田口 正治 三菱商事(株) | 新産業金融事業グループ 物流事業本部
戦略企画室シニアマネージャー |
| 平岡真一郎 ライオン(株) | 執行役員 SCM本部 本部長 兼 SCM統括部長 |

10:00
~
10:05

実行委員長挨拶

ロジスティクス全国大会2017 実行委員会 委員長
キューピー株式会社 執行役員 ロジスティクス本部長

藤田 正美

10:05
~
10:25

主催者挨拶

これからのロジスティクスのあるべき姿『JILS創立25周年を迎えて』

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 専務理事 橋爪 茂久

コーディネータ

ロジスティクス全国大会2017 実行委員会 副委員長
日本通運株式会社 業務部 部長

村瀬 毅

10:25
~
11:35

基調講演

物流業界を取り巻く環境とその課題解決に向けて

- 業界を取り巻く現状と課題
 - ・外部環境と内部環境の変化がもたらした物流業界の現状と課題について
- 課題解決に向けた取り組み
 - ・ITやAI、自動走行をはじめとした先端テクノロジーを活用した「お客様需要への対応」と「超効率的なオペレーション」の確立(8次NEKOシステムやタッチポイントの拡充、ロボネコヤマトなど)
 - ・ネットワーク事業戦略(多頻度循環方式への進化、幹線運行車両の大型化など)
 - ・地域活性化に向けたお買物支援
 - ・業界を越えた連携について(客貨混載など)



小菅 泰治 氏

ヤマト運輸株式会社 常務執行役員

略歴	昭和60年3月	和光大学経済学部 卒業	平成25年4月	ヤマトホールディングス株式会社 経営戦略担当シニアマネージャー 兼務
	昭和60年4月	ヤマト運輸株式会社入社	平成26年4月	執行役員法人営業部長 兼 リテール営業部長 兼
	平成14年2月	岡山主管支店長		ヤマトホールディングス株式会社 経営戦略担当シニアマネージャー
	平成16年4月	横浜主管支店長	平成27年4月	執行役員法人営業部長 兼 ヤマトホールディングス株式会社
	平成18年5月	北東京主管支店長		経営戦略担当シニアマネージャー
	平成21年4月	ヤマトロジスティクス株式会社 執行役員プレジデント	平成28年4月	常務執行役員
	平成23年4月	ヤマト運輸株式会社 法人営業部長		現在に至る

少子高齢化による労働人口の減少や消費行動の多様化など社会環境が大きく変化する中、物流が果たすべき社会的な役割はますます重要になります。本講演では、ドライバー不足・労働力不足など物流業界全体が抱える課題に対する解決策を取り組み事例などを含め、ご紹介させていただきます。

休憩

「ロジスティクス・物流の労働力不足を考える」

11:45
~
12:45

キーノートスピーチ

「トラック輸送の限界と持続可能な物流体制の構築に向けた取り組み」

株式会社野村総合研究所 社会システムコンサルティング部 上級コンサルタント 森川 健 氏

昼休み

13:45
~
14:25

企業事例①

「荷主連携による協同配送(物流効率化)の取り組み」

クリナップロジスティクス株式会社 CS情報部 副部長
TOTOハイリビング株式会社 管理本部 生産管理部 部長

富樫 巧 氏
平野 茂雄 氏

14:25
~
15:05

企業事例②

「労働力不足への対応に向けた取り組み(仮)」

講師調整中

コーヒーブレイク

15:20
~
16:20

パネルディスカッション

「ロジスティクス・物流の労働力不足を考える」

コーディネータ

北條 英

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所 環境推進センター長

パネリスト

株式会社野村総合研究所 社会システムコンサルティング部 上級コンサルタント 森川 健 氏

クリナップロジスティクス株式会社 CS情報部 副部長 富樫 巧 氏

TOTOハイリビング株式会社 管理本部 生産管理部 部長 平野 茂雄 氏

10:00
10:10

ロジスティクス大賞 表彰式 《主催者代表》 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 会長 遠藤 信博

2017年度ロジスティクス大賞 受賞記念講演

10:15
10:25

セッションの紹介 コーディネータ ロジスティクス大賞 選考委員会 委員長 圓川 隆夫
職業能力開発総合大学校長

10:25
11:05

ロジスティクス大賞 奨励賞
予測技術を活用した庫内作業最適化による生産性向上

- 既存の物流リソースを有効活用し、運営体制の強化を目的に活動
- カート作業者の作業分析と出荷アイテム分析による改善活動
- 出荷予測データを活用し最適商品配置と勤務計画に反映

花王ロジスティクス株式会社 泉 新氏
運営部門 企画グループ 部長

消費者ニーズの多様化に伴うアイテム数の増加と得意先からのバラ出荷要請の増加により、物流拠点における庫内作業の生産性が低下し、保管及び出荷用のスペースが不足する問題が生じていた。そこで、予測技術を用いて出荷頻度が非常に低い商品を出荷作業エリア外に保管し、さらには空間を有効活用するためパレットで平置き保管されている商品の一部を出荷量の予測に基づいてケースフローラックに保管する改善を実施した。これにより、出荷作業エリア面積を17%削減し、さらには予測技術に基づく日々の出荷頻度を考慮した商品配置の見直しからピッキングの生産性を15%以上向上させている。そして作業改善に留まらず、これによって削減されたコストを原資として職場環境や作業者の処遇改善にも取り組んでいる点が、継続的な改善を実現していく優れた取り組みとして評価された。

休憩

11:15
11:55

ロジスティクス大賞 技術活用賞
ウェアラブルデバイスを活用した飛躍的な倉庫内作業改善

- 物流作業(非定常作業)における標準工数の活用
- ウェアラブルデバイスとディープラーニング技術で作業内容を自動判定
- 実績工数と標準工数のギャップを基点とした短サイクル改善施策の実行

東芝ロジスティクス株式会社 辻 靖之氏
物流改革推進部 取締役部長

工場等で広く使用されているIE (Industrial Engineering) 手法をベースとした定点観測や時間分析等は、限られた時間と限られた被調査者から対象職場の課題を端的に表すには最適な手法といえる。しかし、改善効果の検証を行うには再度の測定が必要であり、また時間が掛かるために日々の業務の中で継続的に改善活動を行っていくことが困難であった。そこでリストバンド型ウェアラブルデバイスを活用して日々のピッキングにおける作業者の作業時間を測定し、WMS(倉庫管理システム)のデータから求められた標準時間とのギャップから問題となる動作の気付き、そして、その原因分析を行えるシステムを開発した。これにより日々の業務の中で継続的な改善を行っていくだけでなく、作業者個々人の動作特性も詳細に把握できることから個人の技量に合わせた研修が可能となり、より大きな生産性の向上が期待できるシステムとなった。以上のように、センシング技術を物流現場の生産性向上にうまく活用した取り組みであることが評価された。

休憩

12:05
12:45

ロジスティクス大賞
キューピー神戸工場における新たなものづくり実現～「清流化」によるサプライチェーン効率への挑戦～

- 神戸工場における「清流化」とは(課題・目標値)
- 課題解決への具体的な実施内容(対策:7項目)
- 対策実施後の状況と今後の展開(成果)

キューピー株式会社 神戸工場 次長 則兼 美智代氏
ロジスティクス本部 企画部 構造変革需給チーム チームリーダー 葛原 重規氏
株式会社竹中工務店 エンジニアリング本部 製造・物流施設本部 雨宮 東一郎氏
先端・物流施設グループ グループ長

国内市場は人口減少の影響により大幅な売上の増加は難しく、利益を確保していくためには、徹底した効率化による原価低減に取り組む必要があった。そこで本取り組みでは、西日本における基幹工場の建設にあたって、調達・生産・販売・物流の各機能が連携する仕組みを構築し、労働生産性の向上、生産リードタイムの短縮、そして製品在庫の削減を実現した。例えば、製品を充填する時点で行き先配送拠点が事前に決定されており、これによりパレットサイズの際にトラックの積載率を考慮して任意の段数の積み付けが行えるようになっている。また、無人搬送車や秤量の自動化、充填機の高能力化により省人化はもちろんのこと、生産リードタイムを1日まで短縮している。これにより、当日生産したものを当日に約80%、翌日に20%を配送拠点に移動できるようになり、工場における製品在庫の大幅な圧縮を実現している。製造原価の低減はメーカーにおける優先課題であり、他社においても大いに参考になる事例として高く評価された。

昼休み

「IoT時代におけるロジスティクスの進化」

13:45
14:45

報告 ロジスティクスIoT推進部会 議論報告
「IoTの活用によるロジスティクスの効率化と今後の展望」

- IoTの意義とその活用方法
- IoTの活用によるロジスティクスの効率化の事例
- 今後のロジスティクスの目指すべき姿

略歴

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、博士(工学)を取得。その後、山形大、龍谷大を経て、現在に至る。専門は数理物理学で「渋滞学」を提唱し、著書「渋滞学」(新潮選書)は講談社科学出版賞を受賞。

ロジスティクスIoT推進部会 主査 西成 活裕氏
東京大学 先端科学技術研究センター 教授

IoT技術は近年様々な産業分野でイノベーションを生んでおり、物流分野でもシェアリングやマッチング等で様々な活用に始めている。そこで、IoTをいかに物流分野で活用していけばよいのか、その目指すべき姿とそのために必要な解決策について議論する。特に人手不足の問題の解決方法としてIoTは有効であり、荷主と物流事業者の企業連携やオープンデータ化の重要性など研究会で議論してきた様々な話題を紹介する。

コーヒーブレイク

15:00
16:00

取り組み事例 アパレルサプライチェーン 物流領域におけるICタグ活用実験について

※平成28年度経済産業省次世代物流システム構築事業補助金 採択事業

- 事業の骨子と実証実験の内容について
- 実証実験から見えてきたICタグの有効性、可能性について
- 現在のアパレル生産背景から見たICタグ活用の課題について

略歴

中・日間物流・貿易を中心に、三国間物流まで広くアパレル物流に係わり、現在は国内DCから店舗及びEC物流も含めた国内物流にも範囲を広げ、アパレルサプライチェーンの全体最適に取り組んでいる。通関士有資格。

株式会社アダストリア 生産物流本部 貿易物流部長 丸子 淳一氏
株式会社アダストリア・ロジスティクス 代表取締役社長

今回は経済産業省の補助事業である「平成28年度次世代物流システム構築事業」の取組みの中から、アパレルサプライチェーンにおける中国からの輸送を含めた物流領域でICタグを活用した実証実験の報告と今後の可能性や課題などを発表させていただきます。

ロジスティクス全国大会 2017

サポーター一覧

企 業

株式会社IHI	日本通運株式会社
アサヒビール株式会社	日本電気株式会社
株式会社NTTロジスコ	一般社団法人日本海事検定協会
株式会社岡村製作所	日本貨物鉄道株式会社（JR貨物）
花王株式会社	株式会社日本能率協会コンサルティング
鹿島建設株式会社	富士通株式会社
カスケード（ジャパン）リミテッド	株式会社フジトランス コーポレーション
株式会社サーガ	北王流通株式会社
サカタウエアハウス株式会社	ホンダロジコム株式会社
サンコーインダストリー株式会社	三井倉庫株式会社
サントリーホールディングス株式会社	三菱商事株式会社
株式会社住友倉庫	三菱倉庫株式会社
センコーグループホールディングス株式会社	村田機械株式会社
株式会社ダイフク	矢崎エナジーシステム株式会社
TOTO株式会社	ヤマエ久野株式会社
東洋ビジネスエンジニアリング株式会社	リコーロジスティクス株式会社
トヨタ自動車株式会社	月刊マテリアルフロー
株式会社豊田自動織機 トヨタL&Fカンパニー	月刊ロジスティクス・ビジネス
トランスコスモス株式会社	

大 学

愛知学院大学

参加料金(消費税込み)		両日参加	1日参加
JILS会員	1名	36,720円	21,600円
	4名目以降	29,700円	17,280円
会員外	1名	60,480円	34,560円
	4名目以降	34,020円	25,380円

※上記料金には、テキスト代が含まれています。昼食代は含まれておりません。
 ※1社から4名以上参加の場合は、一括でお申し込み下さい。
 ※都合によりプログラムが変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

◆ご注意

- ・テキストは会場でお渡しいたします。テキストのみの販売はいたしておりません。
- ・スライド内容を撮影する目的での写真撮影および講演内容の録音はご遠慮ください。

●有資格者優待(フォローアッププログラム)

当協会では、有資格者のためのフォローアッププログラムを実施しております。本プログラムは、当協会主催の講座で習得した知識をより深く実践の場で活用できる能力を身につけたいという、有資格者からの強い希望を受けて、当協会認定の資格をお持ちの方に、当協会主催のプログラムを、優待料金にてご提供するものです。実践力の強化、最新の情報収集の場として、ぜひご利用ください。

◇フォローアッププログラム参加料(消費税込み)

両日参加	1日参加
29,700円	17,280円

(注)フォローアッププログラムにお申し込み後、参加者が資格をお持ちでない方に変更になった場合は参加料の差額を請求させていただきます。あらかじめご了承ください。

申込欄の該当保有資格にチェックをしてください。

※ロジスティクス経営士(経営)、国際物流管理士(国際)、グリーンロジスティクス管理士(グリーン)、物流技術管理士(物流)、物流現場改善士(改善)

参加定員

両日とも **250名** (定員になり次第、締め切らせていただきます)

参加申込方法

- ・下記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、FAXにて事務局までお申し込みください。
- ・参加者へ「参加証」と「請求書」を参加日の約一週間前までにお送りいたします。お手元に届かない場合には、ご連絡をお願いいたします。
- ・開催間近のお申し込みについては、参加証をFAXにてお送りいたします。
- ・開催日当日のお申し込みにつきましては、事務局へご連絡のうえ、直接会場へお越しください。

参加料支払方法

- ・請求書を発行いたしますので、指定銀行口座にお振込みください。
- ・お支払いは原則として開催前日までをお願い申し上げます。(開催後になる場合は、支払予定欄に明記ください。)
- ・振込手数料は、お客様にてご負担願います。

【お願い】

参加予定の方のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。なお、代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けさせていただきます。あらかじめご了承ください。

キャンセル規定

(注)キャンセルは、FAXでのご連絡のみ申し受けます。

- ・開催7日前～前々日(開催日初日を含まず起算) …………… 参加料(消費税を除く)の30%
- ・開催前日および当日 …………… 参加料(原則として消費税を除く)の全額

参加申込先/プログラム内容の問い合わせ先

公益社団法人
日本ロジスティクスシステム協会 JILS総合研究所
 〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイティアム3階
 TEL. 03-3436-3191 FAX. 03-3436-3190

ロジスティクス全国大会2017			開催期日		支払予定日		月		日払い		
			2017年10月26日(木)～27日(金)								
フリガナ 会社名											
事業所名			<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 会員外		参加される日に○印をご記入ください。		保有資格				
参加者	フリガナ氏名1	所属役職名	10月26日	10月27日	<input type="checkbox"/> 経営 <input type="checkbox"/> 国際 <input type="checkbox"/> グリーン <input type="checkbox"/> 物流 <input type="checkbox"/> 改善		取得期		期		
	勤務先住所	〒 _____ 都道府県 _____									
	TEL	_____	FAX	_____							
	Mail	_____									
	フリガナ氏名2	所属役職名	10月26日	10月27日	<input type="checkbox"/> 経営 <input type="checkbox"/> 国際 <input type="checkbox"/> グリーン <input type="checkbox"/> 物流 <input type="checkbox"/> 改善		取得期		期		
	勤務先住所	〒 _____ 都道府県 _____									
	TEL	_____	FAX	_____							
	Mail	_____									
	フリガナ氏名3	所属役職名	10月26日	10月27日	<input type="checkbox"/> 経営 <input type="checkbox"/> 国際 <input type="checkbox"/> グリーン <input type="checkbox"/> 物流 <input type="checkbox"/> 改善		取得期		期		
	勤務先住所	〒 _____ 都道府県 _____									
TEL	_____	FAX	_____								
Mail	_____										
フリガナ氏名4	所属役職名	10月26日	10月27日	<input type="checkbox"/> 経営 <input type="checkbox"/> 国際 <input type="checkbox"/> グリーン <input type="checkbox"/> 物流 <input type="checkbox"/> 改善		取得期		期			
勤務先住所	〒 _____ 都道府県 _____										
TEL	_____	FAX	_____								
Mail	_____										
参加料合計		名	円	協会への連絡事項							
※参加証、請求書は原則として合計金額を最上段(氏名1)の方にお送りいたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。								DA-1705			

※公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー(<http://www.logistics.or.jp/privacy.html>)をご覧ください。

受付日	請求日	請求No